

鳥取県学校教育DX推進計画の策定に係るパブリックコメントの実施結果について

令和6年1月19日
鳥取県教育センター

鳥取県学校教育DX推進計画（以下「推進計画」という。）の策定にあたり、推進計画案に対するパブリックコメント等を実施しましたので、その結果を報告します。

記

1 実施状況

区分	パブリックコメント	県政参画電子アンケート
募集期間	令和 5年12月8日(金)から 令和 6年1月9日(火)まで	令和 5年12月8日(金)から 令和 5年12月18日(月)まで
周知方法	県施設(県庁、総合事務所、図書館)及び19市町村に配架、とりネットへの掲載、新聞広報、関係機関への郵送	県政参画電子アンケート会員に対し、インターネットを利用
回答者数	12人	434人

※上記と併せて、学識経験者や市町村教育委員会等から意見を聴取

2 意見の状況

(1) 意見総数（パブリックコメント及び県政参画電子アンケート自由記載意見） 122件

(2) 主な意見と対応等

区分	主な意見	対応方針
方針1 ICT を活用した 児童生徒の資 質・能力の育成 (37件)	①児童生徒の情報リテラシーの向上について、一層充実させていく必要がある。(8件) ②学校ではリアルな体験や対面でのコミュニケーション、文字を書いて思考すること等が重要である(7件) ③視力低下等、健康面への影響を懸念する。(3件) ④従来のICT活用推進よりも児童生徒が主体的に学ぶという授業観の変容について一歩踏み込んだ記述にしたほうがよい。	【計画に反映】 ②これまでの実践とICTとの最適な組合せを実現させることを記載する。 ③健康面への影響について配慮することの啓発を記載する。 ④ICT を日常的に利活用し、情報を収集したり、他者と協働したりしながら、自ら課題を解決していく授業への転換を記載する。 【盛り込み済】 ①地域、家庭と連携を図りつつ、専門人材も活用し、児童生徒が ICT のよりよい使い手となるための教育に関する指導を充実させることを記載。
方針2 教職員の ICT 活 用指導力の向 上と人材の確保 (14件)	①地域や学校間による指導の格差が出ないようにすることが大切。(2件)	【盛り込み済】 ①情報化推進リーダーの養成や教員の指導レベルに差が生じないよう習熟度に応じた研修の実施や、外部人材を活用した学校支援の充実を記載
方針3 ICT を活用する ための環境の整 備(20件)	①家庭環境によって教育格差が生じないように配慮してほしい。(端末・通信環境)(3件) ②校務系ネットワークと学習系ネットワークの統合について、目的を詳しく書いたほうがよい。 ③個人情報の取り扱いを含めた、情報セキュリティの確保が大切。	【計画に反映】 ②教育データの連携、クラウドの日常的な活用により知見の共有と教育価値の創出を図ることを記載。 ③個人情報の適切な取扱いと情報セキュリティの確保について記載。 【盛り込み済】 ①県と市町村が連携して端末、通信環境、保守運用等、持続的に1人1台端末が活用できる環境の整備を記載。

方針4 ICT推進体制の 整備と校務の改 善(13件)	①ICTを導入することで教職員の負担が大きくなるようにすることが大切。(5件)	【盛り込み済】 ①共同編集や情報共有等、クラウドを活用することによる業務の効率化を図ることや、ネットワークのあり方を見直し、柔軟かつ安全な働き方について記載。
その他(38件)	①鳥取県の学校 DX の標準化チェックリストなるものを作成して、何年度に、ここまで完了する、など明確な目標設定と評価を設けたマップが必要	【計画に反映】 ①指導、校務において国のチェックリスト等を活用することを記載。

3 県政参画電子アンケートの主な質問項目と回答結果

項 目	割合の高い回答	
	内 容	割合(%)
推進計画案で掲げている4つの方針についてどう思うか。	「よい」及び「どちらかというといよい」	80.9
子どもたちの情報活用能力を育成する上で、どのような場面で ICT を積極的に活用していくべきだと思うか。	情報を整理・比較・分析し、協働してまとめたり編集したりする場面	61.5
学校教育で ICT を活用する場面において、優先的に取り組むべきことは何だと思うか。	教職員の ICT 活用指導力向上のための研修等の充実(児童生徒自身が日々の学習で ICT を活用できる授業づくり)	57.1
教育 DX を進めるにあたり、必要な体制作りについて何が重要だと思うか。	ICTに詳しい外部人材によるサポート	35.7

4 今後の予定

令和6年3月 定例教育委員会にて議決